

県図なう。

令和5年3月15日
第144号（毎月15日発行）
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel：099-224-9511

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。



県立図書館
ホームページ



県立図書館
フェイスブック

鹿児島県立図書館

ホットニュース

令和5年版の83冊を推薦します！

「こどもの本-児童図書モデルリスト-」を作成！



【昨年度のリスト一覧表】

昭和50年から作成している「こどもの本-児童図書モデルリスト-」は、学校や家庭、公共図書館（室）等において、図書を選択する際の参考資料となるよう、当館の職員がまとめた冊子及び一覧表です。

幼児から中学生までの発達段階に応じて、選定の観点を設け、協議を重ねながら、年代ごとに15～20冊の図書資料を選定しています。今年度も、令和4年1月から12月までに児童文化室で受け入れた図書、約2600冊の中から、特におすすめの本を80冊、保護者や指導者向けのモデル図書を3冊選定しました。

これらの本は、3月23日（木）から児童文化室のミニ展示コーナーと児童研究室に展示します。また、冊子と一覧表は、児童文化室と当館ホームページ上で御覧いただけます。なお、一覧表については、児童文化室にて配布用を準備しておりますので、どうぞ御活用ください。



【昨年度の冊子】

図書館で探そう、調べよう！

～70年前の旅館が
今どうなっているのか～

70年ほど前に霧島にあった「大正館」という旅館が、今どうなっているのか知りたいという問合せがありました。当時の名前以外に分かっていることは、ほとんどないとのことでした。

鹿児島県の昔の企業を調べる場合、『鹿児島経済銘鑑』が役に立ちます。この本は、当時、鹿児島県にあった企業の所在地や規模がまとめられたものです。今回も、まず、この本を調べてみましたが、「大正館」は載っていませんでした。

次に調べてみたのは古い電話帳です。1960年発行の電話帳を調べてみると、「大正館」の文字を見つけることができました。しかし、古い電話帳には住所の番地が載っていないため、発行年ごとに調べることにしました。すると、1979年発行の電話帳に「隼人観光ホテル（旧大正館）始良郡隼人町内〇〇〇」という記載があるのを見つけ、当時の番地と名称が分かりました。

ここまでくれば、あとは地図の出番です。当時の地図と現在の地図では当然、地形なども変わっていますが、依頼された方は2枚の地図を見比べながら、おおよその位置に見当を付けられたようでした。そして、「この情報を頼りに、実際に近くを歩いてみる。」とおっしゃって、お帰りになりました。

このように、毎年更新されていく電話帳のようなものでも、残していくことで、いつか、誰かにとって価値のあるものになる保存図書館の役割を再確認した出来事でした。

みなさんも古い電話帳をめくって、思い出の場所や両親の新婚旅行先などを調べてみませんか。

《一般図書》3月15日（水）

新着図書案内

《児童図書》3月23日（木）

- 『箱庭西洋史』 田中 正人/著、祝田 秀全/監修 かんき出版
- 『私たちが図書館について知っている二、三の事柄』 中村 文孝/著、小田 光雄/著 論創社
- 『電線の恋人』 石山 蓮華/著 平凡社
- 『言語はこうして生まれる』 モーテン・H. クリスチャンセン/著、ニック・チエイター/著、塩原 通緒/訳 新潮社
- 『ひとりで生きると決めたんだ』 ふかわ りょう/著 新潮社

- 『はたらくくるま』 伊藤 アキラ/詞、中川 貴雄/絵 ひさかたチャイルド
- 『ミニトマトずかん』 藤田 智/監修 金の星社
- 『黄金の村のゆず物語』 麻井 みよこ/著 ポプラ社
- 『仕事の図鑑 未来が広がる！世の中が見える！』 藤田 晃之/監修 ナツメ社
- 『18歳から「大人」？ 成人にできること、できないこと1』 森 ひとみ/著、ことう ぼん/監修 汐文社

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
3月1日（水）～3月31日（金）
「たくさんある本の賞」
本の賞は「芥川賞・直木賞」以外にもたくさんあります。「本屋大賞」や「このミステリーがすごい！大賞」など、受賞した作品を集めて紹介します。
- 児童文化室ミニ展示
3月23日（木）～4月22日（土）
「決定！『令和5年こどもの本-児童図書モデルリスト-』」
できたてホヤホヤ！
県立図書館がおすすめする本を年代ごとに紹介します。

図書館職員のつぶやき

図書館に赴任して、2年が過ぎようとしている。図書館での仕事は、想像していたとおり忙しかった。そんな中、癒しを与えてくれたのが、児童文化室で見ることができる子供たちの笑顔であった。特に、折り紙で作った星をあげた時に見せる子供たちの笑顔は格別であった。

この子供たちが、将来、社会に出ていくにあたり、図書館職員として何ができるかを日々考えてきた。それは、「良書が読める環境づくり」に努めることであると考えている。具体的には、書籍の選書や整架、お話会などのイベント、司書を対象にした研修会などを充実させることであるが、その前に、最も大切なのは、利用してくださる方々やお子さんとの心のこもったコミュニケーションであると考えている。

今日も、本を借りに来た子供が「ありがとう。」と笑顔で帰っていった。子供たちの笑顔のために、そして、子供たちの未来のためにこれからも頑張っていきたい。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、玉置 永吉/作・えがしら みちこ/絵の『あなたのすてきなところはね』（KADOKAWA）です。

この本は、子どもの自己肯定感を高めてくれる絵本で、子どもたちも大好きな一冊です。長女は文章を覚えてしまうほど読んでいます。わが家では、毎日、夜に読んでから寝ます。毎日の忙しさにかまけてしまい、当たり前すぎる「〇〇ちゃん大好きだよ」という言葉がなかなか口にできていませんでした。この本を読んだあとは、自然とそのような言葉を子どもに伝えることができます。



図書館クイズ

にじいろのほん『いないいないばあ』
まつたに こぶん せがわやす おえ どうしんしゃ
松谷みよ子/文、瀬川康男/画（童心社）
からのクイズです。

このほんに でてこない どうぶつは？

- ①ねずみ ②ねこ ③いぬ

ヒント
おさんぽ だいすき♪

こた じぶん なまえ りようしゃ ばんごう か
答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、
児童文化室にある箱に、4月14日（金）までに
入れてください。正解者のなかから抽選で20人
にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「①はらいっぱい」でした。
ことう ぼん
たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
3月	12	13	14	15★	16	17	18◆
	19	20	21	22★	23	24	25
	26	27	28	29★	30	31	1
4月	2	3	4	5★	6	7	8
	9	10	11	12★	13	14	15◆

○ 開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日（白抜）：9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室（9時～17時）
- ★ は、おはなしのじかん（毎週水曜日15時30分～16時）
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん（第3土曜日14時～）
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日（3月15日、31日、4月14日予定）
- は、児童文化室新着図書の日（3月23日）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。